

★ 2013 ～ 2015 年度幹事の改選結果報告★

2013 ～ 2015 年度幹事改選の開票を 5 月 11 日に事務局で行い、得票数順に了承をいただいた次の諸氏（敬称略：50 音順）に新幹事を担当していただく事になりましたのでお知らせいたします。（会員数 110 名；投票総数 19 票；有効投票総数 19 票）

氏名	郵便番号	住所	電話番号
青野孝昭			
太田郁子			
岡本 忠			
奥島雄一			
近藤光宏			
末長晴輝			
広瀬正明			
守安 敦			
山地 治			
脇本 浩			
渡辺和夫			

◎ 倉敷昆虫同好会会則の改正についてのお知らせ ◎

倉敷昆虫同好会は、創立が 1951 年 1 月ということもあり、本会の行事年度は、1 月 1 日から始まり、12 月 31 日に終わるとされています。しかし、会誌「すずむし」の発行が 3 月末になっていることや、それに関係する会計処理の実情から、以下の通り会則の改正をさせていただきたいと思えます。また、会則改正等が、誌上に発表し会員の承認を得るとなっておりますが、これも実情に合わず、合わせて以下の通り改正させていただきます。なお、承認いただけない場合は事務局までご連絡ください。反対の意思表示がないことをもって、承認していただけたものと判断させていただきます。

「5 本会の行事年度は毎年 1 月 1 日に始まり、12 月 31 日に終わる。」を

「5 本会の行事年度は毎年 4 月 1 日に始まり、3 月 31 日に終わる。」

に改正する。

「13 本会の運営に関する事項、会則の変更及びその他細則については幹事会がこれを行い、誌上に発表し、会員の承認を得る。」を

「13 本会の運営に関する事項、会則の変更及びその他細則については幹事会がこれを行い、誌上に発表し、会員に周知する。」に改正する。

年末例会のご案内

- 1 日時 2013 年 12 月 22 日(日) 午後 2 時から 4 時 30 分ごろ
- 2 場所 しげい病院本館の 5 階かわせみホール
- 3 プログラム

(1) スライド映写 (12 月 18 日までに希望された方)

今回も、会員の皆様に成果を発表していただこうと思えます。ふるってご参加ください。パワーポイントの入ったノートパソコンは用意いたします。発表される方は、デジカメの画像やパワーポイント (バージョンは 97-2003 で保存した物) で作成したファイルを CD か USB メモリーに入れてご持参ください。また、発表は近況の報告も兼ねてお願いいたします。時間は 10 分以内厳守 をお願いいたします。希望される方は、12 月 18 日 (水) までに事務局まで、メールかファックスで「発表者名」「連絡先電話番号」 をご連絡ください。(kurakon@shigei.or.jp FAX. 086-421-1991)

(2) 近況報告（スライド映写をしていない方）

今年1年を振り返って、一人一言ずつお話してください。また、全員に紙に書いていただいた内容は、次回のクラコンに掲載したいと思います。打ち直しますので、読みやすい字でお願いいたします。

(3) 自由懇談

・・時間の都合で短くなるかもしれません。標本などをお持ちよりください。

忘年会のご案内

例会の後、忘年会を下記のように計画致しました。忘年会のみの参加も歓迎致します。参加を希望されるお方は12月18日(水)までに倉敷昆虫館に必ずご連絡下さい。なお、当日急な参加は、ご遠慮ください。

場 所：「鳥好」（とりよし）（電話 086-424-4653）倉敷市阿知3丁目 1-7（倉敷駅前ロータリーの西側陸橋の南側から一番街に入り 20m 程進んだところ）

時 間： 17時30分～ 参加費： 3500円（飲み放題）

連絡先： メール：kurakon@shigei.or.jp（倉敷昆虫館）＊電話 086-422-8207

倉敷昆虫館だより

再開館に当たってのお知らせ

倉敷昆虫館は、昨年4月から1年8か月間休館しており、事務局としての研究室も2度の移転などあり、大変不便をおかけしていましたが、いよいよ12月1日（日）から再開館することになりました。

新昆虫館は1階の旧検体検査室を改装してつくられます。1階にあることで入館者がこれまで以上に増えるのではないかと期待しています。

常設展示（分類展示）は、当初は同好会等が昆虫の調査活動の際得られた標本を展示するという趣旨で全ての標本が対象であったため、1種で数10体の標本を展示するものもあり、また、退色の激しい標本も少なくありませんでした。したがって、後に受け入れた標本はあまり展示されずじまいでした。今までは、大人の来館者が多かったわけですが、今後は子供達にも焦点を当て、当館を昆虫と自然の接点にしていく方向での展示を考えることにしました。そのため、新しい標本との入れ替え、県内産の標本は可能な限り多くの種を加えるなど工夫していきます。再開館に際し、「単なる種のサンプルの展示ではない」という旧館の趣旨を否定することになるかもしれませんが、次のような標本展示をめざしてこれから少しずつ変えていこうと思っています。

- ①多くの身近な昆虫に接することで、自然に対する関心を高める。
- ②昆虫には多くの種類が存在することを知り、生物の多様性についての理解を深める。
- ③目、科ごとに分類された展示になっており、標本ではあるが実物を見ることによって

図鑑や写真以上の理解が得られる。

④過去にはどこでも見られたものが、現在では絶滅したものの、ほとんど見られなくなった多くの昆虫を知ることによって自然保護の大切さを学ぶ。

●再開館に際しての展示内容（旧館より展示スペースが少なくなりました）

- ・再開館を記念して、昆虫館の創設者である故重井博先生の業績の紹介と先生が生息調査等で採集された標本を展示する特別展示。（来年11月まで）
- ・常設展示（分類展示）は、特別展示に使うチョウ目（日本の蝶・蛾）のコーナーを除くものを若干の入れ替え、追加をする。（中型箱のもの）
- ・岡山県のレッドリスト昆虫
- ・重井薬用植物園の昆虫
- ・世界の蝶
- ・その他（生態標本等）

※図書コーナーの充実を図り、子ども達が利用しやすいものにする。

開館時間は、9:30～17:00ですが、これまでと異なり13:00～14:00は勤務者が食事等で館を離れるため閉館とします。また、休館日は月曜日（祝日・休日の場合は開館し、翌日が休館）と年末年始の6日間です。事務局)

倉敷市立自然史博物館の催しもの案内

◎開館30周年記念 特別陳列「倉敷市立自然史博物館30年の歩み」

2013年11月3日で倉敷市立自然史博物館は開館30年を迎えました。登録番号1番の標本など、初公開の資料も展示します。

◆会期：2013年9月28日（土）～12月23日（月・祝）

◆会場：自然史博物館3階特別展示室

◆料金：通常料金（一般150円、大学生50円、高校生以下無料）

◆主な展示物：博物館と友の会が実施したすべての観察会や特別展を記した年表、博物館と友の会の出版物、博物館に関する新聞スクラップ、記録と記憶に残る標本など

◎自然観察会「おかやま自然探訪40」

岡山県内の市町村全部を巡回するシリーズの40回目です。今回は赤磐市の旧熊山町を訪れ、熊山山麓の晩秋の植物、昆虫、動物、岩石を観察します。

◆日時：2013年11月24日（日）10時30分～15時30分（受付10時～10時30分）

◆観察場所：赤磐市熊山の北側山麓（頂上へは登りません）

◆集合場所：赤磐市の吉井川に架かる熊山橋の東詰から県道79号線を南へ約100m行き、その左側にある赤磐市の駐車場（赤磐市千駄（せんだ））

◆講師：自然史博物館学芸員・自然史博物館友の会幹事

◆交通案内：JR山陽本線

倉敷駅 岡山駅 熊山駅

行き) 9時11分 → 9時29分 → 9時59分

帰り) 16時26分 ← 16時08分 ← 15時37分

運賃・大人片道 倉敷～熊山650円 岡山～熊山400円

※ダイヤ改正の可能性があるので時刻はご確認ください。上記集合場所は熊山駅の南西300m。自家用車の方は集合場所に駐車できます。

◆持参品：筆記用具、観察用具、弁当、飲料水、雨具、救急用品など。

◆申込み：11月23日（土）までに電話・ファックス・ハガキなどで自然史博物館へ。電子申請はこちらから

◆備考：雨天決行。ただし、警報発令時は中止。天候があやしい場合は当日朝8時30分以降に友の会携帯電話（090-8242-3896）までお問い合わせください。小学生以下の方は保護者同伴でご参加ください。集合場所近くの熊山駅にトイレがあります。

◎ 12月7日（土） 博物館講座「みつろうでクリスマスキャンドル作り」
 セイヨウミツバチの作るみつろうでキャンドルを作ってクリスマスというのはいかが
 でしょう？

◆日時：12月7日（土）13時30分～15時（受付13時～13時30分）

◆会場：自然史博物館地階講義室

◆講師：木下延子・島岡浩恵・稲神邦代・松村真佐子（博物館友の会幹事）

◆申込み・定員：12月6日（金）までに電話で自然史博物館まで。ただし、申込み順先
 着20組、小学生以上（小学生は保護者同伴）

◆参加費：材料費200円（1組で1本ろうそくを作ります）

◆持参品：タオル・エプロン・軍手

■水生昆虫募集

自然史博物館1階のミニ水族館では岡山県内で採集された水生昆虫を飼育しています。
 ゲンゴロウ、タガメ、タイコウチ、ミスカマキリ、マツモムシ、トンボのヤゴなどをお
 持ちいただければ幸いです。また、水生昆虫のえさとなる小魚や小昆虫も歓迎します。連
 絡は奥島まで電話かメールでお願いします。

■昆虫分野ボランティアスタッフ募集

自然史博物館の昆虫分野のボランティアスタッフを募集しています。昆虫標本の作製・
 同定・整理・修復・研究、展示解説・案内、普及活動（講座・観察会補助）などの中か
 らできることをできる範囲で博物館スタッフと相談しながら活動していただきます。来館
 にはボランティア用無料駐車場がご利用になれます。興味のある方は活動内容等につ
 いて相談させていただきますので、メールまたは電話で奥島までご連絡ください。

☆お問い合わせ・お申込み先 倉敷市立自然史博物館

〒710-0046 倉敷市中央2-6-1 (Tel) 086-425-6037 (Fax) 086-425-6038

(e-mail) musnat@city.kurashiki.okayama.jp

(奥島雄一 倉敷市立自然史博物館)

[2012年度会計報告]

2012年度会計を下記の通り報告します。〈事務局〉

収 入		支 出	
費 目	金額 (円)	費 目	金額 (円)
前年度繰越金	0	すずむし148号印刷代	136,500
会費	229,000	会誌, 連絡紙送料	22,720
バックナンバー売上金	6,700	事務用品費	2,315
		例会謝礼(菓子代)	2,562
		連絡紙代	630
広告費(すずむし148号)	50,000	次年度繰越金	120,973
計	285,700	計	285,700

【新入会員】

No.508 澤田愛子

【住所変更】

No.414 大島康宏

No.492 藤澤侑典

No.435 大森 斉

No.503 渡部晃平

No.472 末長晴輝

【退 会】

No.408 河原宏幸

【交換文献】 (2013. 4. 9~10. 31受付分)

山口のむし (12)	山口むしの会
ちょうしゅう便り(23)	山口むしの会
Nature Study 59 (4) ~ (10)	大阪市立自然史博物館友の会
ホシザキグリーン財団報告(16)	ホシザキグリーン財団
ホシザキグリーン財団報告 特別号 (6) ~ (8)	ホシザキグリーン財団
比婆科学(245), (246)	比婆科学教育振興会
広島虫の会々報(51)	広島虫の会
げんせい (89)	高知昆虫研究会
MUSI MEZURU (39)	鈴木 裕
蛾類通信 (267), (268)	日本蛾類学会
へりぐろ(34)	瀬戸内虫の会
日昆協ニュース (64, 65合併号)	日本昆虫協会
誘蛾燈 (212), (213)	誘蛾会
日本応用動物昆虫学会中国支部研究報告(54)	日本応用動物昆虫学会中国支部
駿河の昆虫(241), (242)	静岡昆虫同好会
ちゃっきりむし(196)	静岡昆虫同好会
久留米虫だより(217), (218)	久留米昆虫研究会

横須賀市博物館研究報告(60)	横須賀市立自然・人文博物館
横須賀市博物館資料集(37)	横須賀市立自然・人文博物館
インセクト 64(1)	とちぎ昆虫愛好会
TINEA 22(4)	日本蛾類学会
倉敷市立自然史博物館研究報告(28)	倉敷市立自然史博物館
倉敷市立自然史博物館報(22)	倉敷市立自然史博物館
すかしば(60)	山陰むしの会
いずも虫だより(112), (113)	山陰むしの会
佐賀むし通信(262)~(246)	佐賀昆虫同好会

【寄贈図書】 (2013. 4. 9~10. 31受付分)

ハチまるごと図鑑	大阪市立自然史博物館
ミニガイド 竹筒に巣をつくるハチ	大阪市立自然史博物館
ミニガイド ナウマンゾウ	大阪市立自然史博物館
蝶の舞う自然	日本蝶類保全協会
よこすか大地と生命の歴史	横須賀市立自然・人文博物館
昆虫とあそぼうよ	倉敷市立自然史博物館

<倉敷昆虫同好会 連絡先> 年会費 2,000円 郵便振替口座 01210-2-6927
 〒710-0051 倉敷市幸町2-30 倉敷昆虫館内 倉敷昆虫同好会事務局
 TEL. 086-422-8207(直通) FAX. 086-421-1991 E-メール kurakon@shigei.or.jp
 開館：午前9時30分から午後5時まで (13:00から14:00は閉館)
 休館日：月曜日 (祝日・休日の場合は開館し、翌日が休館)、12月29日から1月3日

*再開館準備のため、2013年11月30日まで休館します。その間、事務局は火・水・木曜日以外は不在です。